

令和7年度 美祢市人権教育ふれあい講座・リーダー講座



共に学び！共に生きる！



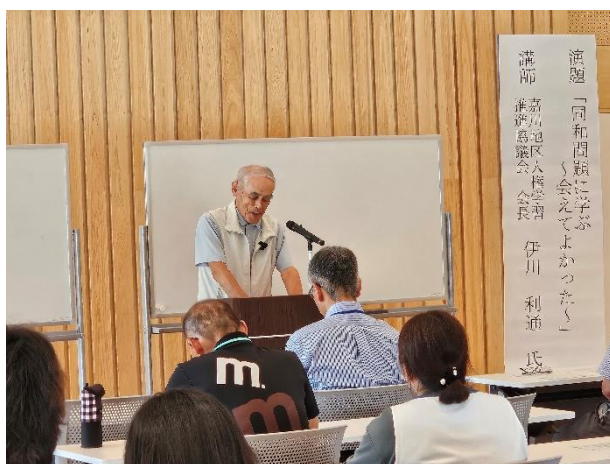
～一人ひとりの人権が尊重された心豊かな地域社会の実現に向けて～

【第2講座を開催して】

8月8日（金）、秋芳地域まちづくりセンターにおいて、令和7年度美祢市人権教育ふれあい講座（第2講座）を開催しました。

『部落差別（同和問題）』をテーマとして、嘉川地区人権学習推進協議会 会長 伊川 利通（いがわ としみち）氏から、「同和問題に学ぶ～会えてよかった～」と題して、御講演いただきました。

「みんなで同じ言葉をきいても、全員が同じものを想像するとは限らないでしょう」という



問いかけから始まり、江戸時代の身分制度を起源とした部落差別は、様々な立場の人の見方・考え方で『つくられた差別だ』という言葉が大変印象的でした。また、現在に残る差別についても紹介していただきました。

【受講者の主な感想】

- 「同和問題に学ぶ」「～に学ぶ」という主旨がよかったです。「あることが当然」を「ありがたい」に変換させる考え方が勉強になりました。
- 部落差別・同和問題は「つくられた違いだ」という言葉が心に残りました。
- ありがたいに気づくことができました。貴重なお話をありがとうございました。
- 当たり前だと思っていることを、もう一度確かめることも大切だと気づかされた。
- 意味のないこだわりが気づき、幸せにも気づきたいと思います。
- これまで、同和問題という被差別部落の方のことを解決するという考えばかりだったが、それを含め、もっと広く考えることも同和問題の解決につながることを学べて視野が広がった。
- 部落差別は、人がつくったもの・ちがいがよくわからないもの・わからないから怖いと思ってしまう、というお話なるほどと思いました。
- 学校での実際の経験・例をふまえての説明だったのでわかりやすかった。
- 当たり前と考えていることは、メディア等から知らず知らずのうちに植え付けられたものと気付かされた。知らないうちに差別をしているかもしれない、それが当たり前になって気付

かない恐れがある。気をつけないといけないと感じた。

- 固定観念で物を見ない
- 違いをつくってしまう人間だからこそ起きてしまう問題だけど、そのことを理解していかないといけないと思った。意識すれば解決できることもあるなと思った。
- 理屈ではないこだわりが作り出す違いなので、見えづらい。
- 人間としての本当の姿を大切に生きていきたいと思える内容でした。
- 当たり前やこだわりは自分ではなかなか気づけないですが、意識することで変わることもあると思うので、日ごろから意識できるよう心がけたいと思いました。
- 同和問題は海外でもあるのだろうか？と疑問に思いました。
- まだこの日本で、高齢者は以前の同和地区のことや、あからさまな差別について悪びれることなく話す人が多い。歴史を正しく伝え、偏見や差別のまちがいやおろかさを教育によって教えて行くことが必要だと思った。